第32回日本助産学会学術集会ワークショップ

研究開始から論文掲載まで

第1回 研究を始めよう! 臨床疑問を研究テーマに ~文献検討のいろは~

〈企画·運営〉 日本助産学会編集委員会

江藤宏美(長崎大学) 高岡智子(山梨大学大学院) 蛭田明子(聖路加国際大学)

遠藤亜貴子(東邦大学) 中川有加(静岡県立大学) 松本直子(聖路加国際大学) 大田えりか(聖路加国際大学) 中村幸代(横浜市立大学) 眞鍋えみ子(同志社女子大学) 第32回日本助産学会学術集会ワークショップ

演者1

助産実践の中から導き出される看護研究

中村幸代(横浜市立大学)

本演題に関連して、開示すべき利益相反状態はありません。

主な内容

- 1. 助産実践での研究の意義・必要性
- 2. 助産実践での研究疑問
- 3. 研究テーマの選択
- 4. 文献検討とは
- 5. 文献検討の意義・必要性

助産師にとっての研究の意義・必要性

- くなぜ研究をするのか?>
 - ✓ エビデンスに基づいた情報提供
 - ✓ 助産師の経験値にエビデンスをつける
 - ✓ 日常の助産ケアに研究の視点(疑問を感じ、科学的に解決しようとする能力)を持つ



助産実践での研究とは

- ・ 助産学は実践の科学⇒現場に還元できる研究
- 日々の助産ケアの中で生じた疑問や問題を解決する研究
- 助産ケアの質を向上させる研究
- 助産師が生涯を通じて専門性を高めていくための礎としての研究(生涯教育の基盤)

助産の専門職にとっての重要な論点についての系統的な探求

臨床的専門能力

最新の研究エビデンス

対象の二一ドと価値観

Burns & Grove, 2015.



優れた研究テーマがもつ5つの条件



- 実現可能性 Feasible
- 科学的興味深さと自己の 関心 Interesting
 - 新規性 Novel
 - 倫理性 Ethical
 - 必要性 Relevant



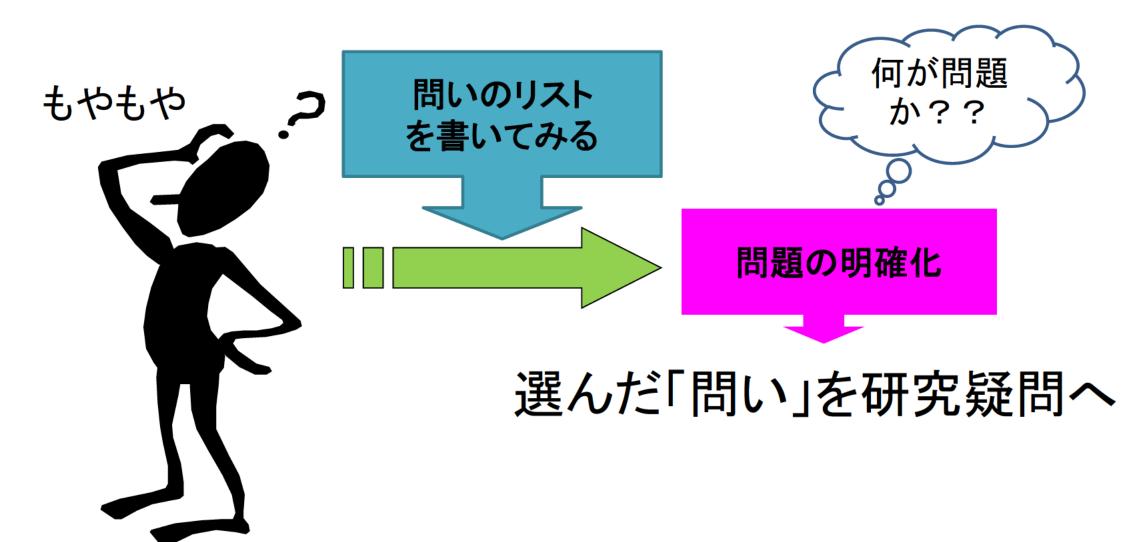
助産実践での研究疑問

研究の第一歩は研究疑問から!

- 日頃の「なんでだろう?」「それって本当 だろうか?」・・・が大切
- 研究テーマを意識しないで、とにかく気づいたことは書き留めておくこと
- 日々の業務だけでなく、クリティカルシン キング意識を高めておく



あなたは何を疑問・問題と感じているのか?





業務改善と助産研究の違い

業務改善

目の前の対象 により良いケア を実施するため

即対応・改善 し個別的応用

助産研究

将来の対象に より良いケアを 実施するため

時間をかけて一般的に応用



文献検討とは

文献とは

研究上の参考 資料となる 文書・書物の すべて

文献検討とは

自分の研究よりも先に公表されている研究とを見定めること



「図書」



書籍のこと。

知識を系統的に

学ぶのに適してい

「雑誌」



新しい知識や研究 論文が掲載

る



学会誌

- 査読システムあり
- ・一定水準が確保

商業誌

- 査読システムなし
- ・水準の確保なし

文献検討の必要性

1.研究疑問⇒研究課題になりうるかの 確認

- 研究疑問は、先行研究で、何がどこまで明らかになっているのだろうか。
- 疑問に対する答えが先行研究にないか調べる。すでに明らかになっているかも・・・
- 明らかになっていない疑問は何か。 「本研究の限界や「今後の課題」はヒントになる!

文献検討の必要性

2. 具体的な研究方法の明確化

- 先行研究では、これまでどんな視点で、どんな研究方法が実施されてきただろうか。
 - ✓ 研究のデザインは?
 - ✓ 研究対象は?
 - ✓ 研究に使用したものは?



3. 考察に引用

研究結果について、先行研究で導き出された知見を基盤として、様々な角度から吟味するために使用

文献検討の意義

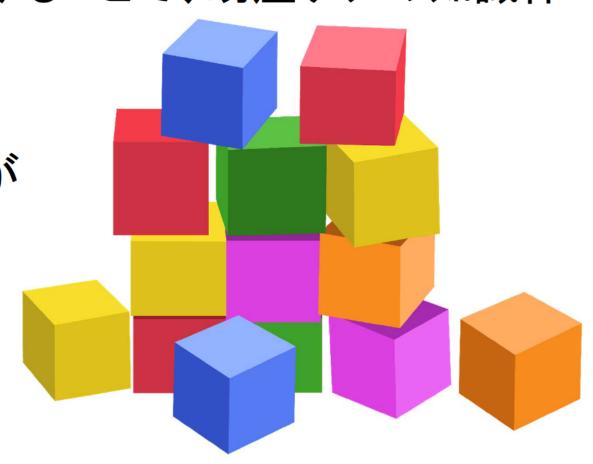
研究は画期的な発見をするわけではない。

「積み木」一つひとつの研究成果は小さくても、多く

の研究者が積み上げることで、助産ケアの知識体

系は高くなる。

自分の「積み木」を 探し確認できることが 文献検討の意義



Take home message

助産実践と研究はペア 文献検討が研究の基盤になる。



参考文献

- D.F.ポーリット& C.T.ベック(著)、近藤潤子(監訳):看護研究 -- 原理と方法、医学書院、2011.
- N.バーンズ&S.Kグローブ(著)、黒田裕子他(監訳):看 護研究入門-実施・評価・活用ー、エルセビア・ジャパン、 2015.
- ・ 黒田裕子(著):黒田裕子の看護研究、医学書院、2015.
- 前田樹海(著):はじめての看護研究、ナツメ社、2015.
- 谷津裕子(著): Start Up 質的看護研究、学研、2016.
- 山崎茂明(著):看護研究のための文献検索ガイド、日本 看護協会出版会、第4版増補版、2013.